

「2010エネルギーグループCSR報告書」の発行について

当社は、本日、グループのさまざまなCSR(企業の社会的責任)の取り組みについてまとめた「2010エネルギーグループCSR報告書」を発行しました。

本報告書では、CSRの取り組みをより分かりやすくお伝えするために、「エネルギーグループCSR行動憲章」の8つの行動原則に沿って紹介しています。

また、今年度は、本報告書の別冊として、「島根原子力発電所における点検不備の概要と今後の取り組みについて」を作成し、このたびの点検不備問題について説明しています。

本報告書の発行をはじめとして、ステークホルダーの皆さまとの双方向コミュニケーションの一層の充実を図り、いただいたご意見を今後のCSRの取り組みに反映させていくことにより、信頼される企業グループを目指してまいります。

1. 記載内容

CSRの取り組みを、実績データや図表等を交えて網羅的・具体的に記載しています。(詳細は別紙のとおり。)

なお、報告書の信頼性を高めるため、環境に関する情報について、サステナビリティ情報審査協会の基準を満たしていることの保証を受けるとともに、CSRの取り組み全体について、学識経験者などからいただいたご意見を掲載しています。

2. 発行部数・体裁

発行部数:7,500部 体裁:A4版縦(4色カラー)、報告書85頁/別冊6頁

3. 配布先

関係する行政機関、当社サービス区域内の図書館およびご希望の方。

[請求先]中国電力株式会社 広報・環境部門 CSR総括担当

TEL 082-544-8867 FAX 082-504-7006

報告書の内容は当社ホームページでご覧いただけます。また、インターネットから資料請求できま

す。<http://www.energia.co.jp/corp/active/csr/index.html>

以上

添付資料

別紙:「2010エネルギーグループCSR報告書」の主な記載内容  [PDF:102KB]

参考:2009年度のCO₂排出原単位について  [PDF:195KB]

関連情報

[CSR\(企業の社会的責任\)の取り組み](#)

「2010 エネルギアグループCSR報告書」の主な記載内容

1. 社長メッセージ（2～3 頁）

このたびの島根原子力発電所の点検不備問題に対する反省と今後の再発防止に向けた決意のほか、社会が持続的に発展していくための喫緊の課題である環境問題への対応などについて、社長メッセージを掲載しています。

2. 企業理念（4～11 頁）

当社の企業理念と、経営の基本となるコーポレートガバナンス、リスクマネジメント、グループ経営の取り組みなどについて報告しています。

3. CSRの取り組みのまとめ（12～15 頁）

CSRのベースとなるエネルギアグループCSR行動憲章を紹介し、8つの行動原則に基づく主なCSR施策や取り組み成果などについて報告しています。

（8つの行動原則）

- 安全の確保
- 人権の尊重
- コンプライアンスの推進
- お客さま本位の徹底
- 環境問題への積極的な取り組み
- 地域社会発展への貢献
- 社会とのコミュニケーションの充実
- 活力ある企業風土づくり

4. 具体的なCSRの取り組み（16～79 頁）

8つの行動原則に沿って具体的なCSRの取り組みを報告しています。

5. 社外からのご意見など（80～84 頁）

社外有識者で構成する中国電力環境懇話会や、学識経験者からいただいた当社の取り組み状況に対するご意見などを紹介しています。

6. 別冊「島根原子力発電所における点検不備の概要と今後の取り組みについて」

2010年3月に判明した島根原子力発電所の点検不備について、その概要や直接的・根本的な原因分析、「原子力品質マネジメントシステムの充実」と「原子力安全文化醸成活動の推進」を柱とする再発防止対策などを説明しています。

2009 年度のCO₂排出原単位について

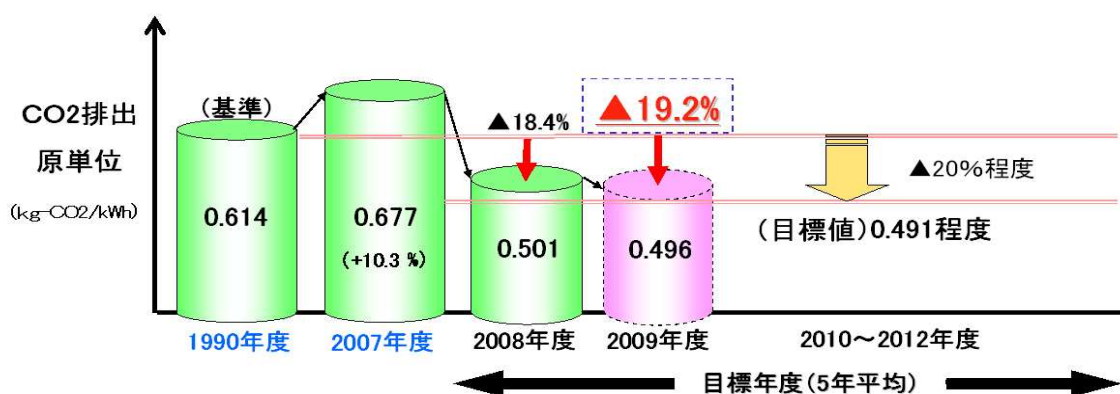
当社は、環境行動計画において「2008 年度～2012 年度におけるCO₂排出原単位を、1990 年度実績から平均 20%程度低減する」ことを目標に掲げ、運転中にCO₂を排出しない原子力発電所の新規開発や既存設備の設備利用率向上のほか、CO₂排出の少ないLNG火力発電の利用拡大等、さまざまなCO₂抑制対策に取り組んでいます。

このほか、地球温暖化防止に向けた国際的な取り組みとして、炭素基金や温室効果ガス削減プロジェクトへ参加しており、2009 年度はこれらのプロジェクトから得られたCO₂排出クレジット 764 万 t-CO₂を、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、当社のCO₂排出原単位へ反映しました。

この結果、2009 年度のCO₂排出原単位は0.496 kg-CO₂/kWh (CO₂排出量 2,875 万 t) となりました。

なお、2009 年度のCO₂排出原単位 0.496 kg-CO₂/kWh は、環境行動計画で定めた目標の基準年である 1990 年度実績から 19.2%の低減となっています。

【CO₂排出原単位の推移】



※ 2008 年度以降は、CO₂排出クレジット反映後の数値を記載。
なお、2009 年度のCO₂排出クレジット反映前の値は 0.628kg-CO₂/kWh (CO₂排出量 3,639 万 t) となっています。